

入中3年人権だよ

徳島市 八万中学校
3年生 第14号
2021年 7月16日
編集・発行 吉成正士

7月6・7日に行われた、徳島県内の修学旅行。その感想を、人権目線で読み解いていこうと思います。

修学旅行の日程を聞いたときは、県外に行けなくて残念だなと思っていたけど、県内でも行ったところがあるところでも、みんなで行くとすごく楽しくなるんだと思いました。

1日目はとても暑くて大変だったけど、すごく楽しかったです。私が特に印象に残っているのは、2日目に行った鳴門の渦潮です。すごく近くで見ることができて、とても感動しました。あんなに近づいて見ることは初めてで、とてもビックリしましたが、すごく大きな渦がたくさんあって、すごいと思いました。

クレメントホテルでしたテーブルマナーも将来にとっても役立つと思いました。料理によって使うナイフが違っていたりして、初めて知ったことがたくさんありました。

今回の修学旅行は、普通と違う形だったけど、とても楽しかったです。とてもいい思い出になったと思いました。

4組NA

▼△▼ △▼△ ▼△▼

1日目はあすたむらんどと動物園&遊園地でした。久しぶりにあすたむらんどに行きました。小学校の頃の遠足がほぼあすたむらんどで、「なんであすたむらんどなん」みたいな気持ちだったけど、あすたむらんどに着くと結構楽しくて、吉野川めぐりも上りと下りに乗りました。私が一番楽しみだったのは科学館です。なかにある「宇宙と地球」みたいなところに行くのがめっちゃ楽しかったです。バスの中ではめっちゃ寝ました。動物園では一通り回って、それから遊園地に行きました。

2日目はすべて行ったことのないところだったので、1日目よりわくわく感がありました。鳴門の渦潮は見たことあるけど、船に乗って見るというのは初めてでした。美術館も初めてで、どこに行けばいいのか分からなくて迷いました。いろんな写真が撮れて満足です。クレメントは初めてではないけど、レストランが初めてでした。どの料理もとてもおいしくて、味わって食べることができました。また機会があれば行きたいです。

この2日間とても楽しかったです。コロナの時期でも、いろいろ考えてくれた先生方に感謝したいです。ありがとうございました。

5組WK

▼△▼ △▼△ ▼△▼

私は1年の時から、沖縄への修学旅行をとっても楽しみにしていました。でもコロナの影響で延期を繰り返して、正直中止になると思っていました。

沖縄へ行くことはできなかったけど、徳島県内のみの修学旅行でも、とても嬉しかったです。宿泊ができなくて、少し残念な気持ちもあるけど、コロナ禍だからこそ得られたことがたくさんありました。

例えば渦潮を見たり、大塚国際美術館へ行ったことがなかったの、私が知らないだけで、まだまだたくさん徳島にいろんな施設があるなと思いました。

動物園やあすたむらんどでは、「写るんです」でたくさ

ん写真を撮りました。普段はなかなか手にしないカメラを使って写真を撮ることは、とても斬新で、印象に残っています。

この徳島県内の修学旅行を通して学んだことはたくさんあるけど、やっぱり一番は、質がすべてではないということです。何回も訪れたことのある場所でも、班の子たちと話して笑いながら過ごす2日間は、とても楽しかったです。コロナ禍の中でも感染しないような修学旅行を考えてくれた先生方、ありがとうございました。

6組MA

高校生になると、みなさんの生活圏は格段に広がります。と同時に、家族と過ごす時間は少なくなり、県内の観光地などに出向くことは少なくなってしまいます。高校を卒業して県内に残れば、車の運転免許を手にし、県内のいろんな所に出かけることもあるでしょう。でも、就職や進学で県外に出てしまえば、そんな県内の観光地や遊びどころを知らないまま、徳島をあとにしてしまうこともよくあるものです。そして県外に行ったとき、徳島の良さを尋ねられて、「何も無い」と言ってしまうことがあります。



「県外のテーマパークがすべてじゃない！」私がいっても思うことです。天候に左右されない場所として、テーマパークは確かに遠足の有力候補地です。でも、天候に左右されるリスクはありますが、まだ行ったことのない県内の観光地や遊びどころを見直してもいいのではないのでしょうか。

私のオススメは、剣山です。やはり天候や、リフト乗り場までかかる時間のリスクはありますが、真っ青な空、鳥のさえずり、行き交う人とかわすあいさつ、澄んだ空気、「もののけ姫」のような世界、雄大な景色、そして、ともに大きな峠を登り切った達成感は格別です。特に下りのリフトは、そんじょそこらのジェットコースターよりも、よっぽど恐怖感が味わえて楽しいものです。気温も、下界より10度くらい涼しいですから、暑い夏は快適この上ありません。もし山荘で泊まれるようなら、夜に見える満天の星空や、早朝の雲海も素敵なものです。これらは、テーマパークでは決して味わえない、徳島の良さです。遠足でなくても、いつかぜひ、みんなにも行ってほしいなと思います。

今回の修学旅行は、コロナのことがあって県内になってしまったけど、とても楽しかったです。行けることが本当にありがたいと思います。中止になった中学校、高校もたくさんあるのに、そんな中でも行けるよう力を尽くしてくださった先生方には、お礼の気持ちを忘れないようにしたいです。

このクラスになって2つ目の行事だけど、体育祭同様、みんなが仲良くなるきっかけになったと思います。

私自身、今まであまり話すことのなかった子とも話すことができました。また、今までよく知らなかった職業についても知ることができたので良かったです。

行く前は、「なんかあんまり楽しそうじゃないな」とか思ったりしたけど、いっぱい遊べて楽しかったし、たくさん思い出ができたので良かったです。これからもこのクラスで、たくさんの楽しい思い出をつくらせていきたいです。

1組KM

▼△▼ △▼△ ▼△▼

私はこのコロナ禍で修学旅行に行けたことに、とっても感謝しています。2年生の時からどうするのかなと思って、たぶん中止だろうなと思っていただけ、県内でも修学旅行を楽しめて良かったです。

あすたむらんの科学館は、小学生のときに何回も行っただけ、中学生になって小学生のときよりも知識がついている今に行くと、小学生のときとは見方が違う感じになって、とってもおもしろかったです。それに吉野川巡りも、なんか小学生のときよりもおもしろくなっていたような気がするし、県内だしいつでも普通に行けるけど、なぜかめっちゃくちゃ楽しかったです。友達と写真も撮ったし、いつもはあんまりしゃべらない子ともめっちゃしゃべったし、ほぼほぼ遠足みたいなんだったけど、私は満足しました。でも美術館が広すぎて迷子になりかけたので、そこは反省点かなと思いました。何より、楽しかったです!!!!

K・M

▼△▼ △▼△ ▼△▼

僕がまず一番にしないといけないことは、「感謝」だと思います。このようなコロナ禍の中でも、僕たちのために協力してくれた先生や施設の方々、そして弁当など様々な場面で協力してくれた両親など、本当にありがとうございました。本来の修学旅行よりは小さい形での実施となってしまったけど、本当に楽しかったし、思い出に残りました。

僕は修学旅行はできないと思っていたけれど、たくさんの先生方が、どうしたらできるのかを考えてくれて、このように成功することができたと思います。考えた案ができなくなったり、行こうとしたところに緊急事態宣言が出たりと、本当につらい思いをされたと思います。ですが、「2日間の徳島旅行」という案を出してくれてそれが実施できたというのは、本当に感謝してもしきれません。ここを起点に、受験勉強に力を入れ、自分の第一志望の高校に行けるように頑張っていきたいと思います。そして、僕たちのために頑張ってくれた人に恩返ししたいと思います。

3組MR

みなさんの健気な感想に、本当に心が洗われる気持ちです。救われた思いになります。

私がこの学年にいなかった昨年、新型コロナが流行り始めたころ、「修学旅行はどうなるのだろう…」と、不安な思いで遠くから見ていました。それでも、「何とかなるだろう」と、たかをくくっていました。でも、その予想はだんだん怪しくなり、校内でも、県内でも、いろんな意見が渦巻きはじめ、そして、延期。延期を決めたのは、やっぱりみんなに、修学旅行に何とか行ってほしいという思いが強かったからだと思います。

それから、いつに延期するのか。行き先はどうするのか。そこでいったいみんなに何を学んでもらうの

か。楽しめる場所にも連れて行ってやりたい。でも、そんなところがあるのか。当時の2年団の先生方はいくつも案を出しては、何度も現地に足を運び、プランを練り直し、それでもその度に、延期が繰り返されていく状況でした。悩み込み、頭を抱えている姿は、見ていると痛々しいほどでした。

みなさんも、お家の人も、またか、またか、と嫌になっただろうと思います。先生方も同じ思いだったのではないかと思います。正直、あきらめた方がいいかとも思った人もいたのではないのでしょうか。それでも何とか、どこでもいから、みんなを楽しませたいという思いでここまで来ました。

感情に流されることなく、冷静に知恵を生かし、ねばり強く闘い抜いてきた被差別者の姿を、みなさんは人権学習のなかで学んできました。みなさんの感想を読んでいて、そんな姿と、修学旅行の企画を中心的に担ってきた先生方の姿が重なっているように感じられました。そしてそんな思いをちゃんと汲み取れているみなさんの成長に、本当に嬉しい気持ちになります。

場所なんてどこだっていい。みんなで行ければ、どこだって楽しいのです。みんなの笑顔が、みんなの存在そのものが、楽しさの原点なのですよ、きっと。

「人権を語り合う中学生交流集会21」に行きましょう!

7月25日(日)に、鳴門市人権福祉センターで、標記の集会が開かれます。

私はみなさんがしてきた人権学習に出会って数ヶ月しか経ちませんが、「見どころのある人権感覚をしてるな」と感じています。鋭い発言や、感性豊かな感想文にたくさん出会ってきたからです。また、「これからも人権学習に取り組んでいきたい」といった言葉にも出会ってきました。

人権学習は、自分の中だけで完結させるのではなく、広くつながること、他人事ではなく自分事として継続していくことが大切です。大会やコンクール、いろんな用事がある人は仕方ありませんが、もし、あのときの言葉がホンモノなら、ぜひ参加することをオススメします。そして、「自分が良ければそれでいい」人ではなく、「いざというときに逃げない」人であってほしいと思います。もちろん、私も行きます。

締め切りは16日(金)、打ち合わせは19日(月)放課後です。他校の同世代の仲間とつながり合いながら、自分を高めることにチャレンジしてみましよう!



人権を語り合う中学生交流集会'21

尊重しあい 尊敬しあい 手を取りあい
~2人な世界に僕は生きる~

日時 2021年7月25日(日) 13:20~16:30 会場 鳴門市人権福祉センター

主催 「人権を語り合う中学生交流集会21」実行委員会・「人権を語り合う中学生交流集会21」運営委員会

日程 13:00~13:20	受付
13:20	開会
13:50~15:00	全体会
15:10~16:20	分科会
16:30	閉会